



記念樹

発行者
医療法人 大分記念病院

大分市羽屋四丁目2番8号
TEL 097-543-5005



ホームページアドレス <http://oitamh.jp>

2021年7月15日 Vol.135

創立四十周年を迎えて

私達の医療法人大分記念病院は1980年12月3日に血液専門の病院として、大分の地に産声を上げました。県立病院で培った基本理念「患者中心のチーム医療」を血液疾患診療の上で実践することを試みようと思っただけです。開設者は血液内科のスタッフ四人。ベッド数48床、職員数28名の小さな病院でした。

実際に開院してみると、血液疾患の患者さん達も沢山の病気を抱えておられ、一般内科も診ることになって仕舞いましたが、血液の患者さんの中には腎臓病を併発して透析が必要な方もおられ、人工透析も導入することになりました。

そして昨年12月3日、創立40周年を迎えました。40年の月日の間に病院は少しずつ大きくなり、職員数355名の大所帯になってしまいました。職員数が増えることは嬉しいことです。今後の進むべき道として「患者中心のチーム医療、職員の人権を守ってグループ診療」を目指すといたしました。

世界に先駆けて超高齢社会に突入した日本は高齢者人口の増加と共に医療費の増加は必然です。しかし現実には中々に対応できず病院運営も困難なものでしたが、開設者四人のリーダーのチームワークは素晴らしく「患者中心の医療」を目指すことに一致し

た方向性があり、その実現に向けて努力することが出来たのは掛け替えのないことでありました。同時に職員の皆さんの献身的な協力があったためであり、感謝に堪えませぬ。

また聖路加国際病院理事長であった日野原重明先生の存在を忘れることは出来ません。日野原先生には県立病院在籍の頃から日本の医療の先駆者として医療のあり方、向かうべき方向についてご指導頂いておりました。先生は医療に医師のほか看護師など医療スタッフの参加を勧められました。それを受けて私達は地域の関連機関とのさらなる連携を密にしたグループ診療を目指すことにしました。また、日野原先生には大分記念病院開設後も定期的に講演指導に来て頂きました。

1988年、多目的ホール新設を記念した講演会では「変わっていく医療の方向と実践」と題して講演、その中でメイヨークリニックの新しいシステムについて紹介されました。レベルの高いケア、血圧の自己測定、患者さんの医療への参加、患者さんの情報の共有、さらには看護師の医療への参加によって医療の質の向上が期待できることを示されました。

1996年、創立16周年記念講演会では「ヴィジョンを追う民間病院の使命ー時代を先取りして」と題して講演。先見の明を目指

したヴィジョンを持つこと、ベンチャー勇氣ある行動を取ること、そしてヴィクトリーV。病院はヴィジョンを明確にしながら行動することが重要だと説かれました。

2001年創立20周年の講演では「21世紀の健康問題は誰が責任を持って解決すべきかー個人と病院との新しい役割」その中で、これからは自分の健康問題は自分で責任を持って解決すべき時代であり、医学研究に患者が参加する時代である。そして自分達のミッションに向かって職員皆が同じ方向を向き、感性が豊かで慈しむ心のあるケアを皆で行い患者さんを全人的にケアすると同時にこの病院の特徴がしみじみ感じられるような病院になって欲しいと話されました。素晴らしいお言葉、私達は感慨深く拝聴しお言葉にあるような病院作りを目指すことを心に誓ったのであります。

今一つ忘れてはならないことはグループ診療を目指して、地域医療に携わる先生方を始めとし沢山の施設の方々との連携を心掛けたお蔭で、地域医療の実践に当たっている方々のご指導とご支援を受けたことが「患者中心のグループ診療」という夢を追ってきた医療法人大分記念病院成長の大きな力になったことです。有難いことで、此処に深く感謝して篤く御礼申し上げます。

今後とも更なるご指導、ご支援方よろしくお願いいたします。

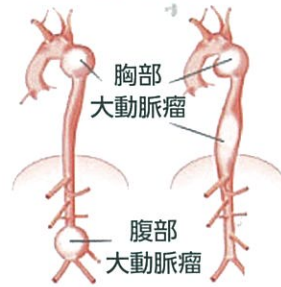
大動脈瘤のおはなし

動脈瘤とは、全身に血液を送る動脈の壁の一部が拡張して瘤状に膨れ上がった状態です。動脈瘤は全身どこにでも起こり得ます。特に大動脈という体の中で最も太い血管が膨らむと「大動脈瘤」と呼ばれます。部位ごとに「胸部大動脈瘤」「腹部大動脈瘤」のように区別されています。

動脈瘤の多くは無症状ですが、大きくなると周囲の組織を圧迫し、胸部なら血痰、嘔声（声枯れ）、胸や背中の痛みなど、腹部なら腰やお腹の痛みなどが見られることがあります。しかし、症状が出たときには既に破裂する危険性が高まっている状態です。大動脈瘤が破裂すると体内で大量出血が起こり、その死亡率は80%を超えると言われています。そのため、大動脈瘤は破裂する前に治療

するのが原則です。いったん動脈瘤ができてしまうと自然に縮小することはない、有効な薬物治療もありません。手術が必要となります。

●大動脈瘤の部位による分類

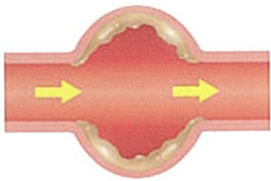


大動脈瘤の主な原因として、動脈硬化があります。加齢などによって動脈の血管壁は硬く、脆くなります。血管壁の弱った部分は血圧がかかると膨らみややすくなり、動脈瘤が形成されるのです。この他にも遺伝や、外傷（交通事故など）、炎症、感染などによる特殊な動脈瘤があります。

動脈硬化の危険因子は様々ありますが、特に高血圧と喫煙が大動脈瘤のリスクを高めると言われています。喫煙と発癌リスクについてはよく知られていますが、それ以上に血管に与える悪影響の方が大きいというデータもあります。また、慢性肺疾患は動脈瘤の拡大を早めることが知られています。

健康診断で血圧が高いと言われても、自覚症状がなければ放置してしまふことが少なくないと思います。また、せうかく受診して薬を飲み始めてもその効果を実感できなければ、通院や内服が面倒になって自己中断してしまふこともあるかもしれません。タバコが悪いことは分かっているのになかなか辞められない、そうしていつの間にか気が付かないうちに大動脈瘤という時限爆弾のような怖い病気を抱えてしまふ可能性もあるのです。

動脈硬化によって動脈の壁が脆くなる

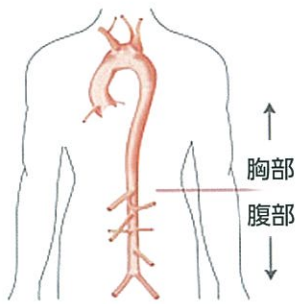


では、もし動脈瘤を発症してしまったら、どのように発見すればよいのでしょうか。大動脈瘤は無症状のため、健康診断などのレントゲン検査や超音波検査で偶然発見されることがほとんどです。痩せ体型の場合は、仰向けになると腹部に拍動する膨らみがかかることもあります。しかし、これらの検査はあくまで動脈瘤の有無をチェックするための一般検査であり、瘤の正確なサイズや、拡大する度合いを知るにはCT検査が最適です。

大動脈瘤が小さい場合は手術の対象にならず、毎年の経過観察を行います。部位ごとに破裂の危険性が高まるサイズが知られており、その基準サイズに達すると手術を考慮します。大動脈瘤の位置によっては複雑な手術方法を用いる必要があり、頻度は低いですが重い合併症を発生する場合もあります。症状や身体の状態によって、最適な治療法を選択することが大切です。複数のリスクを抱えている方は、是非一度ご相談ください。

（川野まどか）

●大動脈



はやの里便り



大分記念病院 訪問介護ステーション 最近の取組みについて

今年は5月の過ごしやすい季節に、観測史上一番早い梅雨入りが発表されました。

新型コロナウイルスの影響で、春から初夏にかけて、絶好の外出日和の時に外出、外泊、面会の制限強化ではやの里の利用者の方々には、ストレスが溜まるような日々で、大変申し訳なく思っています。

最近のコロナ禍の中、ヘルパーステーションでの取組みを紹介します。

[口腔ケアの取組み]

感染症から利用者さんの身を守るために4月から口腔ケアに力を入れています。

- ☆ 利用者さん一人ひとりの歯の状態を書式にしました。
 - ・ 歯石、虫歯、歯茎下がり、義歯の状態把握に取り組んでいます。
- ☆ 現在、新型コロナウイルスの影響で外出が制限されています。歯科受診が必要とみられる利用者さんに関しては、私たちスタッフが、病院のリハビリST(言語聴覚士)と相談しながら口腔ケアを行っており、なるべく現状の歯の状態が維持できるように努めています。
 - ・ 口腔ケア時のブラッシングについてスタッフ間で話し合いを行いました。



[食事介助の取組み]

利用者さんに食事を美味しく食べてもらうためにおこなっている事です。

- ☆ 利用者さんの横に座り何かあった時にすぐに動けるように椅子に浅く腰掛けておく。
- ☆ 食べ物をティースプーン1杯程度とり、少し下から利用者さんの口元まで持つて行く。
- ☆ 食べ物が利用者さんの口の中に入ったら、しっかり咀嚼が出来るように声をかける。
- ☆ スプーンを斜め上に抜く。
- ☆ 飲み込みを確認し、次の食事を口に運ぶ。



今後も介護ステーションスタッフ一同、気付きの精神で利用者の方々へ寄り添う介護を目指します。

大分記念病院 訪問介護ステーション
管理者 秋山 澄江



お問い合わせは
TEL 097-543-6400

おくすり通信

抗菌薬(抗生剤・抗生物質)を服用される方にお伝えしたいこと

- 抗菌薬は細菌を壊したり、増えるのを抑えたりする薬です。風邪に抗菌薬は効きません。

風邪の原因のほとんどはウイルスであり、細菌は大きさや仕組みが異なるので抗菌薬は効きません。そのため風邪を治すのに重要なのはあなた自身の免疫力です。

(※ 風邪薬は熱を下げたり、咳や痰などの症状を抑えるために処方されます。)

- 自己判断で薬の量を減らしたり、中止してはいけません。

症状がなくなったからと自己判断で抗菌薬を減らしたり、止めてしまうなどの不適切、不十分な飲み方をすると、また症状が出たり、薬剤耐性菌(薬が効きにくい病原菌)が出来る可能性があります。もしこの耐性菌による感染症を起こせば、抗菌薬が効かないため治療に困ることになるかもしれません。そうならないためにも処方された通りの飲み方と期間を守って服用することが大切です。



- 他の人に処方された薬を飲んではいけません。

同じような症状でも、その時の症状に合わなければ効果がないだけでなく、思わぬ副作用が出る危険があります。以前処方された抗菌薬が残っている場合、病院・薬局に相談して適切に処分しましょう。



最後に、抗菌薬に関わらず薬について気になることがありましたら、医師又は薬剤師までご相談ください。 薬剤科 小山 典子

お盆診療のお知らせ

8月13日(金)、14日(土)は通常どおり診療いたします。お盆休みはございません。

診療予約専用電話
097-545-4890



末友 仁 理事長
「TOSテレビ大分
ゆ〜わくワイド&News」出演!!

6月10日(木)に当院呼吸器内科医師の末友 仁 理事長が、TOSテレビ大分で放送された夕方のニュース「ゆ〜わくワイド&News」に出演しました。「コロナ禍で2度目の夏を迎える熱中症」について取材を受けました。

編集後記

コロナ禍でまさかの2度目の夏です。この夏もマスクの暑さと熱中症とのせめぎ合いに悩まされることになるのは誰が想像したでしょうか!?一刻も早いこの未曾有の事態の終息を願い、連日当院でも患者さんへのワクチン接種が行われております。

さて、大分記念病院は昨年の12月に40周年を迎えました。それを記念して、この6月に「40周年記念誌」が発行されました。

今回の巻頭言では、この記念誌の発行を受け、40年間を振り返り、当院が歩み続け、目指してきたものは何であるか、そしてその先にある成長について述べられていますが、この誌面上だけでは伝えきれない!ということで、より詳しい内容は「40周年記念誌」に書かれておりますので、お手元にある方はそちらを熟読してより一層お楽しみください。

(図書室 河野)

医療法人 大分記念病院

基本理念

1. 私達は法人各施設・各部門が協力して、患者中心のチーム医療と利用者中心のチームケアを実践することにより患者及び利用者の満足度と幸福に貢献します。
2. 私達は常に診療レベルの向上を図ると共に地域住民の皆様へ安全で良質な医療とケアを提供します。
3. 私達は地域の医療、福祉機関との緊密な連携を保ちながら一般急性期医療および地域包括ケアを実践します。

基本方針

1. 専門的医療レベルと医のアートを兼ね備えた全職員による全人的医療を患者の皆様へ提供します。
2. 患者及び利用者の皆様の立場に立って、信頼と安全の確保に全力を尽くします。
3. 患者及び利用者の皆様の満足度を高めるべく、心のこもった医療と介護サービスに努めます。

大分記念病院ホームページはこちらから

大分記念病院

検索

